2026 年 11 月 6 日
一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部

和歌山県民のための「地震防災・減災セミナー」を開催

一般社団法人日本損害保険協会近畿支部和歌山損保会（会長：大西 真紀・損害保険ジャパン株式会社和歌山支店長）は、11 月 1 日（日）、和歌山県との共催により、和歌山県民のための「地震防災・減災セミナー」を開催しました。

本セミナーは、南海トラフ地震の発生に備え、和歌山県民の皆様に地震災害への理解を深めていただくとともに、日頃からの備えや災害発生時の適切な行動について考えていただくことを目的に開催しました。当日は、会場 50 名、オンライン 55 名の計 105 名が参加しました。

開会にあたり、大西損保会長が主催者を代表して挨拶し、11 月 5 日の「世界津波の日」の由来となった和歌山県広川町の「稲むらの火」の逸話に触れながら、「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、日頃の備えを具体的な行動につなげることの重要性を呼びかけました。

続いて、和歌山県危機管理消防課の大畑 敦義 課長から、「南海トラフ地震に備える和歌山県の『命を守る』防災・減災対策」と題して講演いただき、災害対応の基本的な考え方や和歌山県の防災・減災の取組みなどについて解説いただきました。

また、京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守 克也 教授から、「みんなの防災心理学～日常と災害をつなぐ」と題して講演いただきました。講演では、防災を特別なものとして捉えるのではなく、防災と健康、防災とレジャーなど、災害への備えを日常生活とどのようにつなげていくかについて、具体例を交えながら解説いただきました。

さらに、当支部から被災後の生活再建を経済的に支える「地震保険」について情報提供を行い、その役割や必要性を紹介しました。また、会場参加者には日頃からの災害への備えに役立てていただくため、非常食と防災ファイルを配布しました。

当支部では、今後も行政機関や関係団体等と連携し、地域の皆様の防災・減災意識の向上と地震保険の理解促進に向けた取組みを推進してまいります。

【開催概要】

日　　時：2026 年 11 月 1 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分
会　　場：和歌山県民文化会館 5 階 大会議室（和歌山市小松原通一丁目 1 番地）
開催方法：会場開催および YouTube によるオンライン配信
主　　催：一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部 和歌山損保会
共　　催：和歌山県
後　　援：財務省近畿財務局、一般社団法人和歌山県損害保険代理業協会
参加人数：105 名（会場 50 名、オンライン 55 名）

【プログラム】

講　　演：「南海トラフ地震に備える和歌山県の『命を守る』防災・減災対策」
講師：和歌山県 危機管理部 危機管理局 危機管理消防課 大畑 敦義 課長
基調講演：「みんなの防災心理学～日常と災害をつなぐ」
講師：京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター　矢守 克也 教授
情報提供：「地震保険について」
一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部

※当日は、テレビ和歌山および毎日新聞和歌山支局による取材がありました。



会場の様子



矢守教授（基調講演）



大西損保会長（開会挨拶）



大畑課長（講演）